

平成 31 年 2 月 12 日

瀬戸内市議会議長

原野 健一 様

瀬戸内市議会議員

馬場 政教

小野田 光

原野 健一

平原 順二

河本 裕志

高間 直美

布野 浩子

角口 隼一

岡 國太郎

政務活動費視察等報告書

政務活動費を使用して、次のとおり調査研究活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	平成 31 年 1 月 22 日
訪問先	茨木県常総市役所
調査事項	関東・東北豪雨災害について
調査概要	<p>水害に対する検証報告</p> <p>予想をはるかに超える大雨時の避難勧告指示等行政の対応、鬼怒川決壊までの行政の対応、避難所開設から運営の取り組みについて、すべて想定外の事案であり、住民の避難指示のための必要な情報の伝達が遅れた。</p> <p>市民のために誰が、どのように確実に現在の状況、今後の起こりうる災害について伝えるのかが明確でなく、住民の危機意識も薄い。</p> <p>また、行政は「安全・安心なまちづくり」を行うと大きくPRしているが、行政が安全対策を行ったとしても、住民が協力し合って地域防災力を高めないと安心感を得ることはできない。</p> <p>「自分の命は自分で守る」を基本に訴え、防災訓練を行わないと援助・平和ボケは解決しない。形だけの防災訓練ではなく、命を守る避難訓練が今後行政に求められる。</p>
所 感	<p>活発な意見交換ができ、意義ある研修視察となった。本市においても災害対策は喫緊の課題であり、ハード面の整備や充実はもちろん、住民主体の地域防災力の向上にも取り組んでいく必要があると感じた。</p>

31. 2. 18

392